

# 都市再生整備計画 フォローアップ報告書

## 銀河ホール21地区

平成24年4月

北海道足寄郡足寄町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	あしよろ銀河ホール21利用者数	人/年	116,600	140,000	200,000	確定	○	あり	209,745	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による国道整備や本事業による駐車場整備等により、アクセスが容易になり、駐車台数が増えたため、これまで以上に利用しやすい施設となった。また、改装に伴う飲食店や観光案内の充実と上記との相乗効果により、目標値を大きく上回る結果となった。
指標2	時間短縮	分	10	2	3	確定	△	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値には届かなかったものの、移動距離・時間が大幅に短縮され、利便性は高まった。
指標3	イベント参加人数	人/年	7,000	8,000	3,500	確定	×	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	当初計画で見込んでいたラリージャパンの開催地が変更となったため、目標値は大幅に下回ったが、各イベント毎の参加人数は増えているため、一定の効果はあった。
指標4						確定		あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	自動車での移動距離短縮	m	900	/	350	確定	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南1条通の完成により、あしよろ銀河ホール21を境に、西側地区と東側地区を往来する距離が短くなり、地域住民の利便性が高まった。
その他の数値指標2	イベント開催回数	回/年	3	/	5	確定	/	5	H24年4月	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	銀河ホール21の再整備により、これまで以上に活用しやすいイベントスペースが確保され、新しいイベントが開催されるようになった。
その他の数値指標3			/	/	/	確定	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を持続させるために行う方策</li> </ul>	銀河ホール21における町の顔としての商業や観光の中心的な役割の継続			
	まちの資源の活用やまちづくりの推進			
	道の駅としての運営を考える組織体制の整備			
改善策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を達成するための改善策</li> <li>・残された課題・新たな課題への対応策</li> <li>・その他 必要な改善策</li> </ul>				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(第2回変更)

ぎんが ちく  
銀河ホール21地区

ほっかいどうあしよろちよう  
北海道足寄町

平成 24 年 3 月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	足寄町	地区名	銀河ホール21	面積	2.2 ha				
計画期間	平成	20 年度	～	平成	23 年度	交付期間	平成	20 年度	～	平成	23 年度

<b>目標</b> <b>大目標: 緑輝く大地に人のやさしさがあふれるまちの創出</b> 目標1 「道の駅」機能の充実と本町の交通、商業、観光等の中心的役割の継続を目指す。 目標2 道路整備により、銀河ホール21東側地区と西側地区とのアクセスを確保し、地域住民の利便性の向上を図る。 目標3 交通ネットワークの拠点整備とともに来町者などが気軽に休める銀河ホール21周辺を目指す。
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <p>足寄町は東に阿寒国立公園、西に大雪山国立公園が隣接しており、あしよろ銀河ホール21(旧足寄駅)前で交差する国道241号、242号は北海道周遊観光の主要動線の一つである。当町の公共交通の中心的役割を担ってきた旧足寄駅は、町内外の人々が往来する場所であったが、過疎化や交通手段の変革により平成15年3月の阿寒方面、平成17年9月の上士幌方面の路線バス、平成18年4月にはふるさと銀河線の鉄路が廃線となり、現在は、鉄道代替交通の帯広・陸別線路線バスだけが唯一の公共交通となっている。</p> <p>又、平成16年8月銀河ホール21周辺が当町2箇所目「道の駅」に指定された後は阿寒国立公園等を訪れる観光客を中心に利用者が増加し、特に休日や観光シーズンには施設利用者の駐車場不足となっている。</p> <p>こうしたなか、平成14年度より実施している足寄市街地区土地区画整理事業や国道整備事業と連動させた駅周辺整備の機運が高まり、行政、商工会、観光協会、足寄町中心市街地活性化推進協議会、農協等の代表からなる官民協働による「あしよろ銀河ホール21周辺整備検討委員会」が設置され、「道の駅」機能の充実を図ると共に引き続き当町の交通、商業、観光等の中心的な役割を継続させる積極的な活動がされている。</p> <p>当該計画地区に一部接して、平成17年度から21年度までの5ヶ年計画でまちづくり交付金事業「足寄駅前地区」が、①まちなかの定住人口確保②未利用地の有効利用③道路整備④官民協働のまちづくりを目指して事業展開されている。</p>
<b>課題</b> ① 「道の駅」銀河ホール21(旧足寄駅)周辺の駐車場確保等の整備。線路により東西に分断されていた駅周辺における土地利用の活性化等に向けた道路整備。 ② 駅舎機能を失った銀河ホール21の新たな利活用(再整備)。 ③ 国道整備(241号・242号)、土地区画整理事業が実施中であり、これらの事業と連動した本町の交通、商業、観光の中心的な役割を継続させる「あしよろ銀河ホール21」周辺のまちづくり。 ④ 銀河ホール21(道の駅)での各種イベントの実施による、町の顔としての商業、観光の賑わいの発生装置としての機能強化。
<b>将来ビジョン(中長期)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>足寄町第5次総合計画の「緑輝く大地に人のやさしさがあふれるまち」を目指し、①豊かな自然と共生し安心して暮らせる快適なまちづくり②いつまでも健康で安心して暮らせる支え合いのまちづくり③豊かで強い心を育む学びと文化のまちづくり④豊かな資源を生かした活力ある産業・観光と魅力ある商業のまちづくり⑤共に考え共に行動するまちづくりを官民協働で推進していく。</li> <li>銀河ホール21周辺は古くから本町の交通、商業等の中心的な役割を担っており、当該事業を通じて引き続きその役割を継続していく。</li> </ul>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
あしよろ銀河ホール21利用者数	人/年	施設利用者の増加	施設内部の整備及び駐車場の拡充により、施設利用者数の増加を目指す。	116,600	平成18年度	140,000	平成23年度
時間短縮	分	銀河ホール21東側地区と西側地区との連絡時間の短縮	道路整備により、銀河ホール21東側地区と西側地区のアクセス確保、連絡時間の短縮を図る。	10	平成18年度	2	平成22年度
イベント参加人数	人/年	当該地区内での各種イベント参加人数	地場産品、特産品、漬物販売等のイベント参加人数。	7,000	平成18年度	8,000	平成23年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<b>整備方針1(「道の駅」機能の充実)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「道の駅」利用者が気軽に安心して滞留できる場の提供を図るため、銀河ホール21周辺の機能整備を行う。</li> <li>あしよる銀河ホール21の内部改修と多目的広場の整備により、地産地消、産消協働を目指した地場産品、特産物、飲食物等の物販コーナーを充実させ賑わいのある空間を創出する。</li> </ul>	既存建造物活用事業(基幹事業/町)による観光交流センター(観光交流スペース、情報発信施設、外構(広場及び駐車場))整備、地域創造支援事業(提案事業/町)による産消協働支援事業
<b>整備方針2(アクセス確保と利便性の向上)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道により分断されていた銀河ホール21東側地区と西側地区を結ぶ道路整備を行い、交通アクセス強化と住民の利便性の向上を図る。</li> </ul>	土地区画整理事業(関連事業/町)による道路整備、国道整備事業(関連事業/国)による国道整備、道路整備事業(基幹事業/町)による道路整備。
<b>整備方針3(まちの拠点整備)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道廃止後の駅周辺の整備により、駅の多目的化を図り、より住民や観光客等から親しまれるような空間を目指す。</li> </ul>	国道整備事業(関連事業/国)による国道整備、既存建造物活用事業(基幹事業/町)による観光交流センター(観光交流スペース、情報発信施設、外構(広場及び駐車場))整備、地域生活基盤施設(基幹事業/町)による多目的駐車場の整備。
<b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li> <b>○継続的なまちづくり活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>当町では、昭和63年に町民が主体的にまちづくりを担うべく「日本足並み会」が設立され、日本各地との交流や国道歩道部や公園への足型プレート設置等多彩な活動が行われている。平成5年には、駅前周辺の商業空洞化に対応した「商業活性化推進協議会」が設立されたが、平成10年に商業のみならず中心市街地全体のあり方を模索するため「足寄町中心市街地活性化推進協議会」に発展改称し現在に至っている。平成13年には緑のまちづくりを進めるために、国、北海道も参加した「足寄町緑のまちづくり協議会」が設立され、植樹等が行われている。平成17年には、足寄町中心市街地活性化推進協議会に「まち並み景観専門部会」を設置し、国道整備に併せた景観のあり方について積極的な活動が展開されている。今後も「足寄町中心市街地活性化推進協議会」がまちづくりの中心的役割を担いながら、各種事業の進め方の改善や関連ソフト事業の取り組みを関係住民と調整を図りながら協働のまちづくりを目指す。</li> </ul> </li> <li> <b>○交付期間中の計画の管理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道整備事業及び土地区画整理事業との調整を図りながら、各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるため、足寄町中心市街地活性化推進協議会と協働して、事業成果について評価改善を行うためのモニタリングを実施し、情報公開する。</li> </ul> </li> </ul>	

